

④懐かし昭和のエピソード

内容	詳細
七条大宮には「宝座」「日本キネマ」という2つの映画館があった	京都市電が開業し、七条線と大宮線が交差する七条大宮交差点周辺は、繁華街として発展することとなり、当時の娯楽の王様である映画館も複数開業した。七条通大宮西入る南側に「日本キネマ」、大宮通七条下る東側に「宝座」という映画館があった。 その後テレビの普及や娯楽の多様化により、両館とも昭和40年代に閉館したと思われる。
ヨドバシカメラの場所は、以前「物産館」という土産物店であった。	1920年に現在地に「京都物産館」の名称で土産物店を開店したのが始まりである。その後順次規模を拡大し、昭和初期には名称を「丸物」に変更し、岐阜や豊橋、名古屋にも進出した。 戦後も九州や東京などにも出店を行うものの、競争の激化に伴い店舗の整理を進め、近鉄グループの一員となり、名称も「京都近鉄百貨店」に変更した。 2000年には複数の専門店を誘致し「プラッツ近鉄」とリニューアルを行ったが、2007年に87年の歴史に幕を閉じた。
昔、五条七本松に巨大な円筒形のガスタンクがあった。	大阪ガス（以前は京都瓦斯）のガス工場であり、市中ではかなり目立つ高層建築物だったが、その後大阪の工場からのパイプラインに切り替えられたことで、京都の工場は廃止され、1983年までに撤去、その跡地に京都リサーチパークが建設された。
京都中央郵便局はもともと京都タワーの場所にあった。	明治時代に七条郵便局として開業し、1949年に現在の名称に変更された。1961年に現在地に移転した。
ヨドバシカメラの場所に昔、ボウリング場があった。	昭和40年代のボウリング場ブームの頃に丸物（現在のヨドバシカメラ）の西側に「丸物ボウル」の名称でオープンした。しかし、ボウリングブームは長続きせず、ブームが去るとともに閉鎖されることになった。
八条～四条間の御前通に、市バス（7号系統 東寺西門～三条京阪）が走っていた。	1957年から1981年までの24年間運行していた。